

破傷風

どんな病気？



破傷風は、ケガをしたときに傷口から破傷風菌が入っておこる病気です。傷口が小さくても感染の危険性があります。破傷風菌の出す毒素は、神経麻痺、筋肉の激しいけいれんや呼吸困難などをひきおこします。発症した場合は、死亡率が高い病気であるため早めに予防接種を受けて免疫をつけることが大切です。

ワクチンの接種対象

乳幼児はDPT-IPV四種混合ワクチンで予防が可能で、生後3か月からの定期接種となっています。また、DT二種混合トキソイドを11歳から12歳のときに追加接種します。